

県北



日立支社
日立市
高萩市
北茨城市

■日立支社
日立市
高萩市
北茨城市
☎0294(22)4466
ファクス(22)4480

知られざる赤水の天文学②

寄稿

長久保赤水顕彰会長

佐川 春久

長久保赤水の生誕300年（2017年）を前に、

太陽の周りを公転している小惑星に長久保赤水の名前が付けられた。この小惑星「Nagakubo」は、

直径約10⁺（参考・「はやぶさ2」探査で有名な小惑星「リュウグウ」は直径約900⁺）。火星と木星の間

にあり、ややつぶれた楕円軌道で太陽の周りを約4

年半かけて回っている。16年4月22日、国際天文学連

合（本部・パリ）のホームページに小惑星『Nagakubo』の誕生が掲載。

これにより国際天文学連合から「星の学術名」として認められ、「小惑星名辞典」に長久保赤水の名前が収録

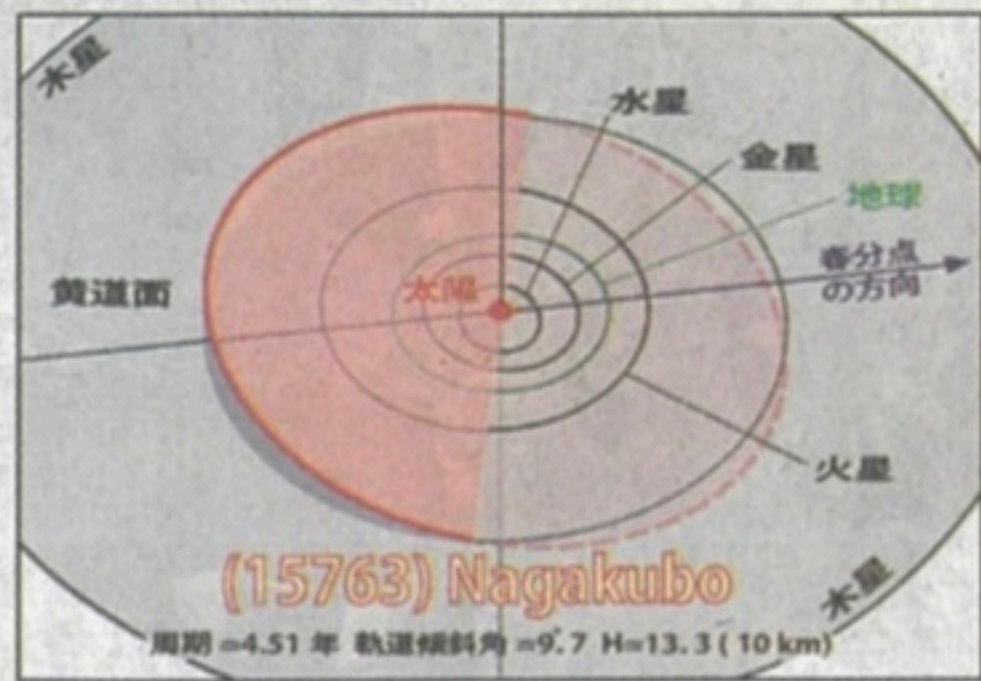
されることとなった。（マングラ長久保赤水の一生160⁺（参照））

生誕300年、小惑星に名

日立市天気相談所長）に連絡を取り、その富岡先生のご紹介で札幌市の渡辺和郎先生へとつながった。渡辺先生は、数々の小惑星を発見されている日本でも有名な方で、全国誌の『天文ガイズ』等にも連載コーナーを持っていた。先生は、「これまででは、個人の名を小惑

私は、その日のうちに川口氏に協力を約束し、小惑星「Nagakubo」誕生の実現をお願いした。川口氏は、その後、天文サークルや個人でのご指導をいただいております。しかも、小惑星「富岡」の発見者で、ご自分の名前を付けている日立市の富岡啓行先生（元

太陽系における小惑星「Nagakubo」の楕円軌道図。天文家・渡辺和郎氏（札幌市）提供



日立市天気相談所長）に連絡を取り、その富岡先生のご紹介で札幌市の渡辺和郎先生へとつながった。渡辺先生は、数々の小惑星を発見されている日本でも有名な方で、全国誌の『天文ガイズ』等にも連載コーナーを持っていた。先生は、「これまででは、個人の名を小惑

いくつかの天文資料を川口氏経由で送ったところ、渡辺先生から「日本語と英語で長久保赤水の業績を100字以内で送ってほしい」と連絡があった。まず、日本語での原稿案を川口氏が作成。それを私から、当時、東京大大学院教授だった馬場章先生の下に送り、日本語と英語で原稿を書いていただいた。渡辺先生からは、「すぐに、国際天文学連合に申請したので、数カ月お待ちください」との連絡があり、その8カ月後、念願の小惑星「Nagakubo」が誕生した。（『長久保赤水の天文学』十一・140⁺（参照））

（次回は18日掲載）